

現代人の生き方社会を考える

「共に生きたい」

真の豊かさを求めて—わたしたちを支えるものはなにか

あなたの富のあるところにあなたの心もあるのだ (マタイ 6-21)

現代社会の問題の一番深いところに潜んでいるものは、何を一番大事に生きるかという価値観の問題です。何を大切にするか、私たちの価値観が問われています。誰かを犠牲にして成り立つ物質的豊かさを追い求める競争社会、差別や搾取によって得る豊かさは、錯覚ではないでしょうか。経済が停滞する中で仕事や居場所を失う人たち、不安定な状況に置かれた外国籍の人たちの、苦しみ悲しみと共に、真に豊かに生きるとはどのような事なのか、考えてみませんか。

1月16日 「この世界の片隅へ～カトリック社会教書というまなざし～」 大木 聡

社会の歪みによって苦しんでいる人たちへの、カトリック教会のまなざしが社会教書です。この世界に生きる人々に寄り添い、共に生きる道をそこから読み取ります。

(真生会館館長)

1月30日 「コロナ危機と移民・難民」

日本には8万人の非正規滞在外国人が存在します。「存在しない」ことにされている人々の生活と権利を守るために何ができるかを考えてみませんか。

稲葉 奈々子 (上智大学総合グローバル学部教授)

2月13日 「助けて！助けるよ！と言えるつながりを作りたい」

生き難さを持つ女性たちの存在をもっと広く知って貰い、その女性たちが生きやすくなる社会を共につくっていかれたらと思います。

遠藤 良子 (特定非営利活動法人くにたち夢ファーム Jikka 代表)

3月6日 「群馬を中心に、移民の問題と移民に関わる教会」

オリビエ・シェガレ

新型コロナウイルスのパンデミックによって健康を崩したり、仕事を失ったりする兄弟姉妹が、どんなことがあっても神の愛を感じ失望に陥らないために。

(パリ外国宣教会)

お申込、お問合せ

一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4

Tel 03-3351-7121・Fax 03-3358-9700

E-mail gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

URL <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

申込書 * 受講料：一回毎 ¥1,000・学生無料 (学生証ご提示下さい)

ご希望の日程に✓を入れる 1月16日 1月30日 2月13日 3月6日

氏名 住所

連絡先 (電話番号)

※ 講師プロフィール ※

大木 聡（真生会館館長）

山梨大学大学院修士課程で電気工学を専攻し、IT 企業で勤務しソフトウェア作成やシステム開発にあった。10 年間の SE 生活の後、上智大学神学部にて社会人入学して神学を学ぶ。上智大学に在学中は、真生会館「ワカゲ」スタッフとして働いた。上智大学大学院神学部博士前期課程を終了後に、横浜教区事務局で職員として勤務した。2016 年に真生会館の館長となる。これまでに様々な教会活動に携わり、カトリック青年連絡協議会事務局長、カトリック社会問題研究所代表幹事などを務める。

稲葉 奈々子（上智大学総合グローバル学部教授）

社会学者。東京大学大学院総合文化研究科博士課程中退。NGO「移住者と連帯する全国ネットワーク」運営委員、「反貧困ネットワーク」世話人。女性移住者の「リサーチ&アクション」など、女性移住者や非正規滞在者の権利擁護を中心に活動している。主な著作に、「社会を取り戻す人々：フランスにおける都市底辺層の反グローバリズム運動」『社会学評論』258号、「<サンパピエ>の運動と反植民地主義言説—作動しなかったポストコロニアリズム」竹沢尚一郎編著『移民のヨーロッパ—国際比較の視点から』明石書店などがある。

遠藤 良子（特定非営利活動法人くにたち夢ファーム Jikka 代表）

地域で子どもの居場所作りや女性の悩み相談を受ける市民活動を続けてきた。

2006 年から始めた市町村の男女共同参画センターの女性相談員の仕事にはまり、配偶者暴力相談支援センターの女性相談員も兼ねて行うようになり、行政の女性支援の中途半端さや法律の不備や視点の偏りに疑問を感じ、地域でその行政批判も含め穴や隙間を埋め、女性がいつからでも、どんなところからでも、自分の人生を自分のものとして生き直せる場をつくりたいと Jikka を始めた。

オリビエ・シュガレ（パリ外国宣教会）

1939年、フランス、ル・アーブル生まれ。パリカトリック大学人間学学科に入学後59年、パリ外国宣教会に入会、65年に司祭となる。日本宣教を志し67年11月に来日。カトリック札幌教区・湯の川、山鼻各教会で助任司祭、恵庭教会で主任司祭。75年に東京教区・真生会館研究員に就任、97年より同会館の館長。傍ら、カトリック社会問題研究所で協働司祭を務める。2003年より、パリ外国宣教会日本管区長の任に就く（注：現在は、アントワン・デ・モンジュロ師）。2015年、カトリック司祭叙階50周年を迎えた。現在、カトリックさいたま教区渋川教会主任司祭。